



ネットワークの中立性に関する見解

インテル株式会社
代表取締役共同社長 吉田 和正

次世代ネットワークにおける基本的見解(望まれる姿)



【インテルが考えるネットワーク中立性に関する基本的スタンス】

- Access any legal content (合法コンテンツへのアクセス);
- Run the applications of their choice (ユーザ選択によるアプリケーション起動);
- Connect any devices to their network connections that do not harm the Internet (インターネットに害を与えないデバイスの接続); and
- Receive full disclosure of the bandwidth and other material aspects of their service. (満足な通信帯域およびそれに付随するサービスの提供)

- ⇒
- サービスプロバイダーは理由も無くコンテンツ、アプリケーションアクセスを制限すべきではない
 - サービスプロバイダーは理由も無くデバイスの接続機能を制限すべきではない

特別な存在からあたり前の存在に(基本スタンス)



- ネットワークはあってあたり前の社会的インフラでありライフラインとして認識される時代
- 費用、サービス、質のいずれの要素をとってもユーザにとって満足行く内容であることが重要



ネットワークの中立性の議論がなぜ重要と考えるか

■ 【ICTがユーザ個々の暮らしを豊かにする】

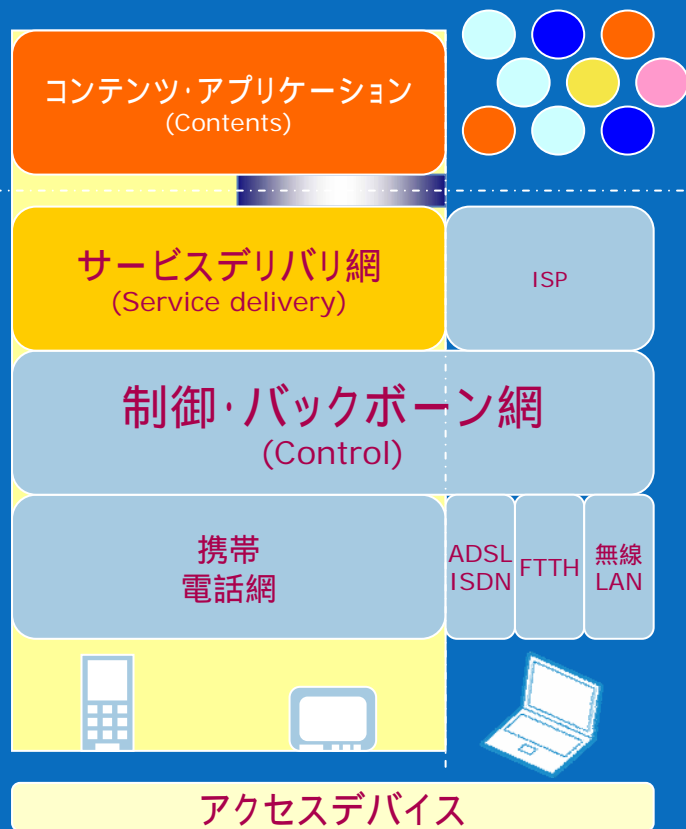
- ユーザに、如何にしてネットワークサービスを基本ライフラインサービスとして提供していくか
- サービス提供に関して、ユーザ間の公平性確保
- 個人の知恵、イノベーションを促進すべく、ユーザ同士が自由に繋がる環境を構築していくか
- ユーザに透過的で、いかにして接続デバイスのセキュリティを担保するか
- 健全なネット上コミュニティの運営、知の共有によるイノベーションの促進

■ 【ICTが日本の国家競争力を向上し、豊かで安全な社会を造る】

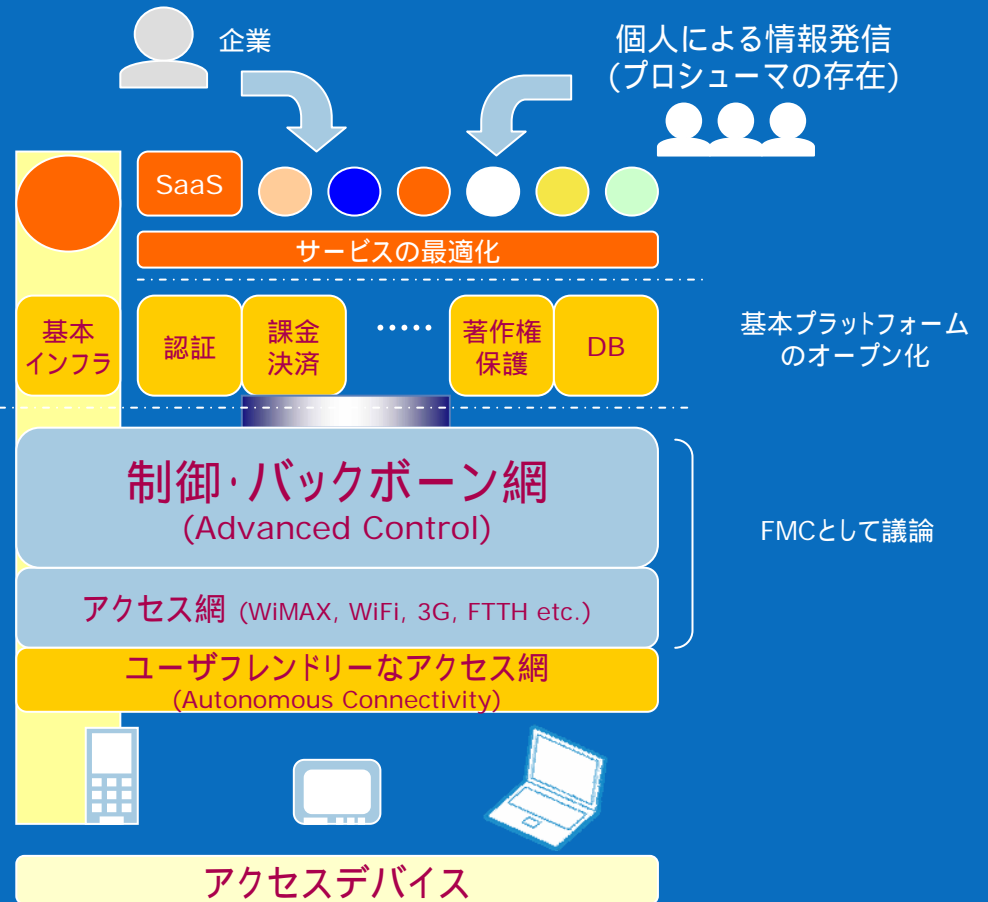
- 安定したグローバル水準インフラをいかに発展・構築していくか
- サービスデリバリ網のコスト負担（垂直統合から水平分業に伴う内容）の適正化
- サービスデリバリ網がトランスポートに依存せずに発展・構築していけるか
- 特殊業界毎に確立するサービスモデル（例：医療業界）の促進

垂直統合型ビジネスモデルから水平分業型モデルとの共存の時代に移行

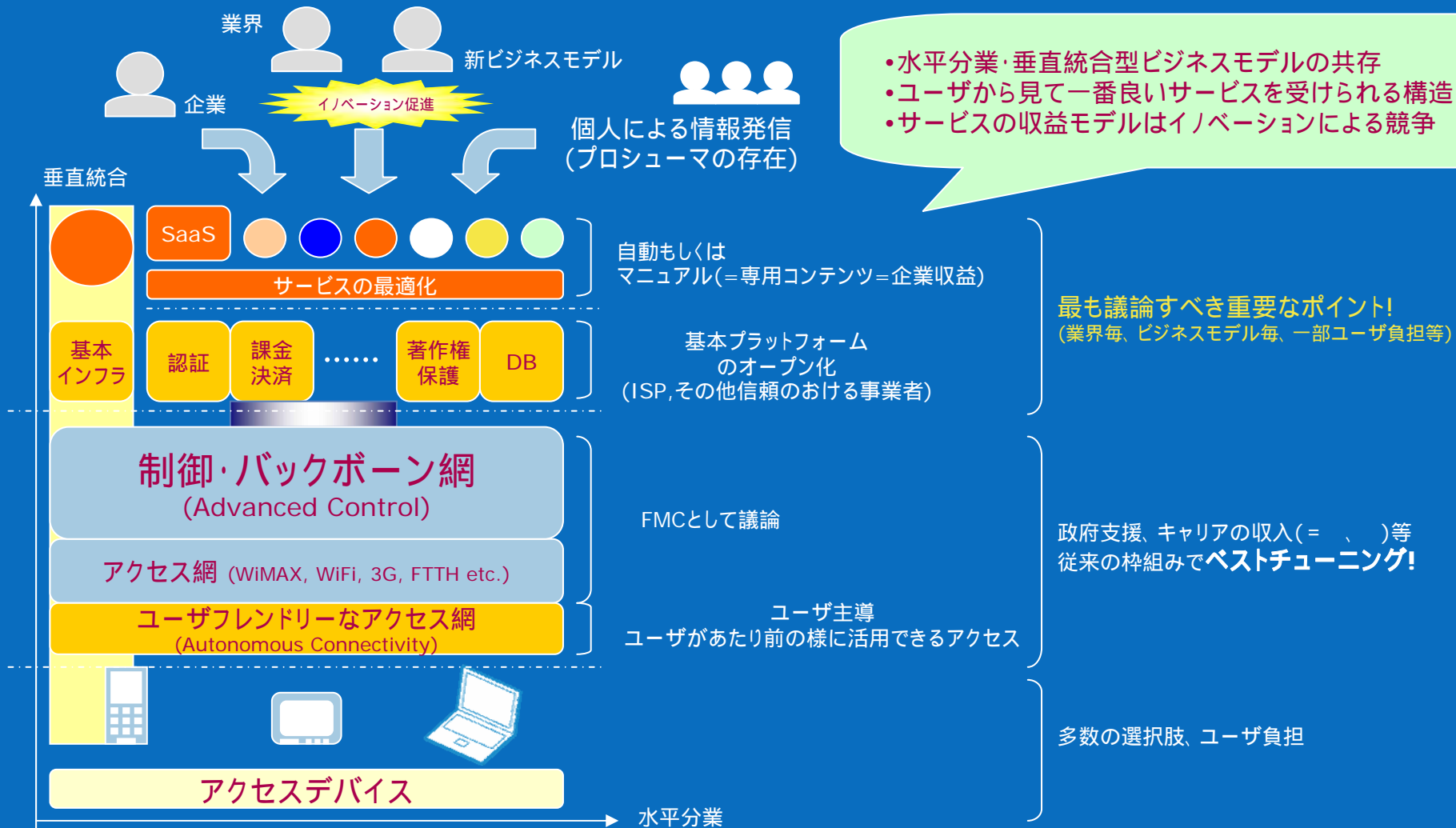
現状



より水平分業型ビジネスモデル主流の時代に進化
(P2P、Uplinkトラフィックの急増)

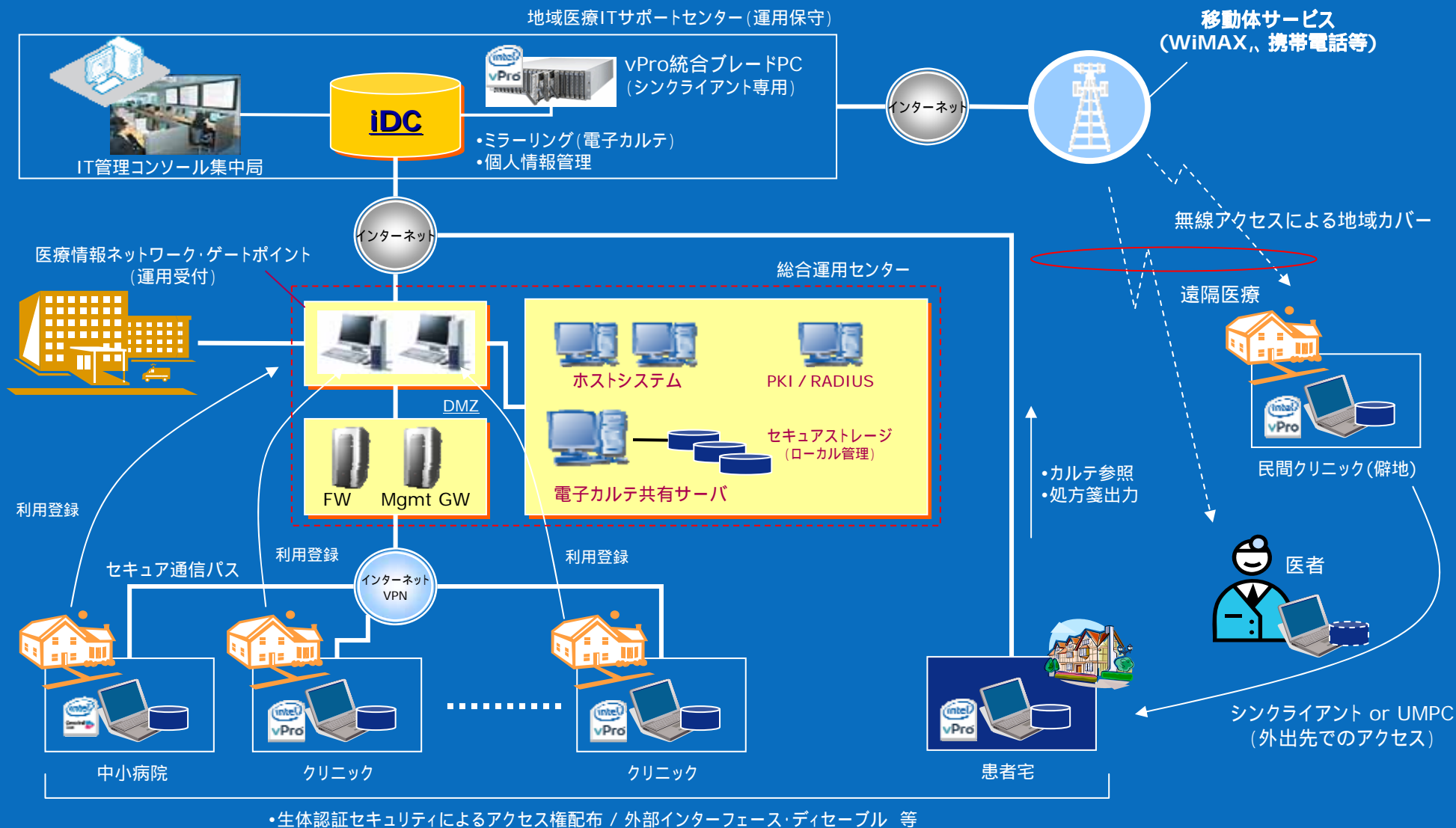


ネットワークの中立性（コスト構造の課題）



- 水平分業・垂直統合型ビジネスモデルの共存
- ユーザから見て一番良いサービスを受けられる構造
- サービスの収益モデルはイノベーションによる競争

展望例) 高度医療情報ネットワーク例 (医療業界)

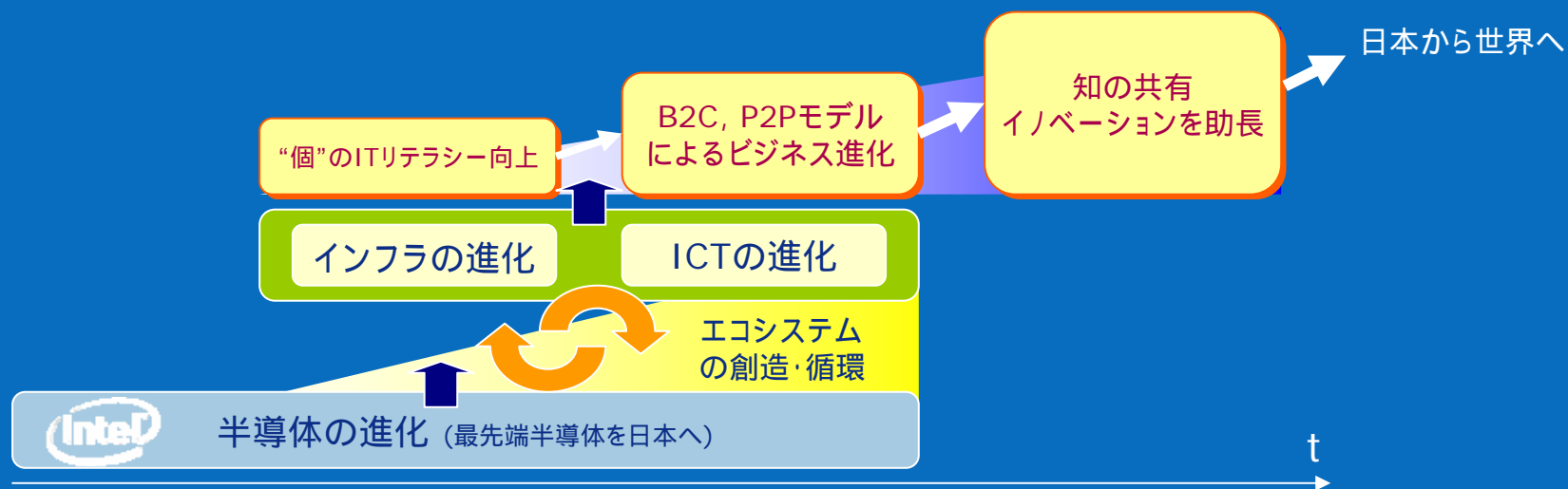


個人のクリエイティビティ促進 (市場で起こったケーススタディ(1))

【**個人**の視点で見たポイント】

例)

- 新しい利用形態 ライフスタイルの変革、新しいビジネスモデルの登場を助長
- ブログ・SNSの登場 コミュニティ形成、個人からの情報発信が加速



最先端半導体技術をイノベーションの原動力に!
インテルは国内IT企業と連携、様々なビジネス・サービスモデルを助長!!

企業の競争力強化(市場で起こったケーススタディ(2))

【企業の視点で見たポイント】

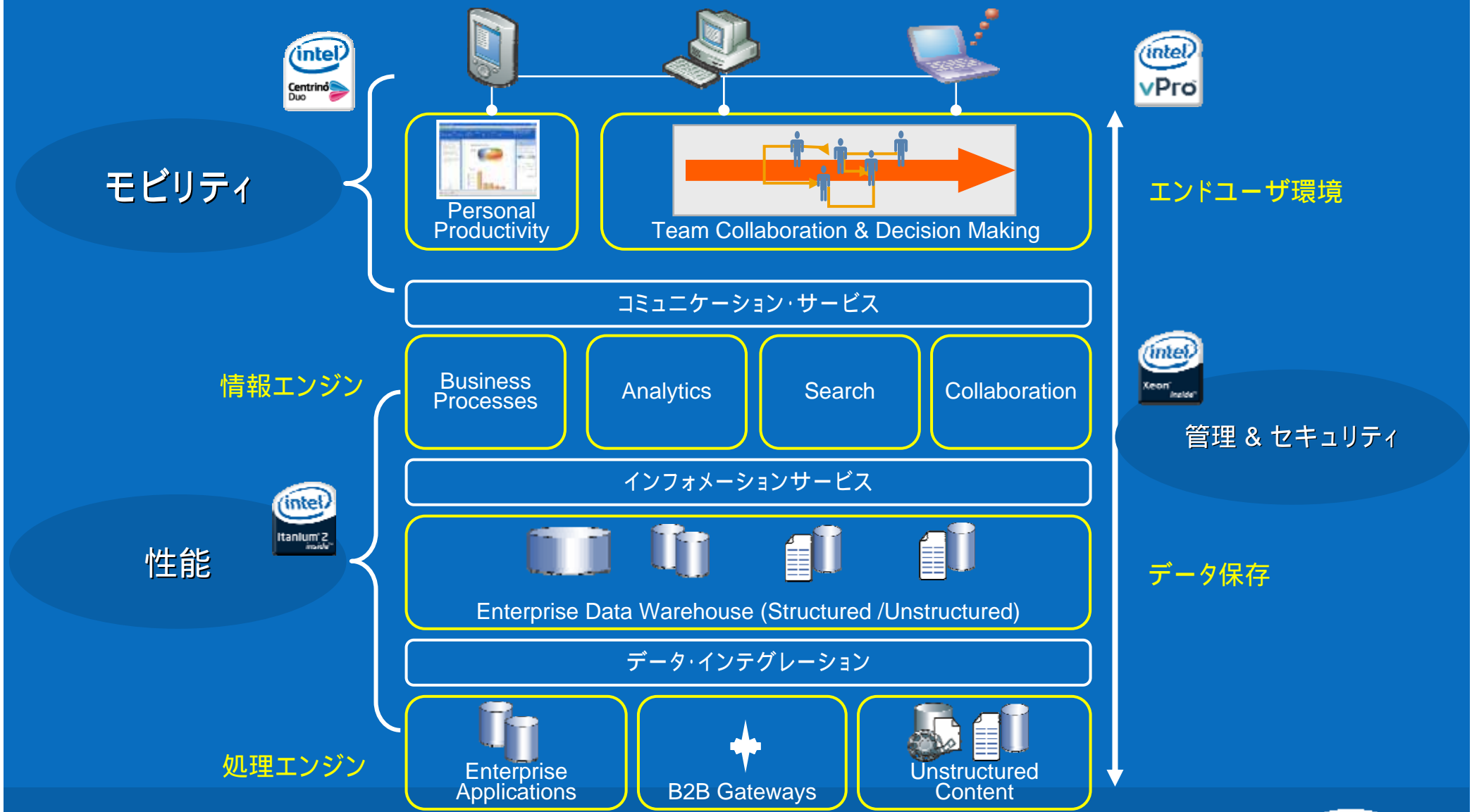
例)

- 無線LANホットスポットの増加 人本来の”動く”能力を助長することで生産性向上
- 電子カルテの開発 ユーザにとって見えにくかった情報を今後は、より身近な存在に



最先端半導体技術の進歩を国家競争力の源泉に!
インテルは国内IT企業と連携、更なるイノベーションを助長!!

企業の競争力をICTが後押し



次世代ネットワークにおける基本的見解(実現手段案)

“望まれる姿”の具現化

【公平かつ快適なブロードバンド環境の上で国際標準化された技術を展開】



- 合法のコンテンツ・アプリケーションに自由にアクセスが可能であること
著作権保護の仕組み等の整備
- ユーザ選択によるアプリケーション起動(SaaS等)
高性能コンピューティング環境の整備
- インターネットに害を与えないデバイスの接続
エンドポイントのプラットフォーム化の推進
- 満足行く通信帯域とそれに付随するサービス
水平分業、垂直統合型ビジネスモデルの共存

公平かつ快適なブロードバンド環境の上で国際標準化された技術を展開



まとめ（懇談会に対する期待事項）

- “個”の時代に応じたサービスモデルを促進
- “個”から自律的になされる知の共有、イノベーション創造の土台作り

—————→ 中立的なネットワーク上における合法的なサービスモデルの構築



- 先進国として、インターネットに害を与えないエンドポイント整備(プラットフォーム化)
- アクセス網の複数投資から、世界標準のネットワーク網整備(国家競争力の強化)
- インフラ網コスト負担のベストチューニング

—————→ 世界的にも技術的にも優れたインフラ網の発展・整備



